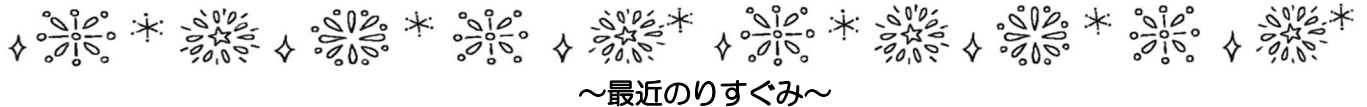




いすぐみだより

2025年度 7月号 尚徳福祉会生麦保育園

梅雨が明け、本格的な夏の訪れを感じる季節となりました。あっという間に1年の半分が過ぎ、子どもたちの表情や仕草にも成長を感じています。友だちとの関わりも少しずつ増え「いれて」「あそぼ」と声を掛け合っ
て遊ぶ姿が多く見られるようになりました。これから暑さが増す時期となりますが、夏ならではの活動を楽し
みながら体調に気をつけて過ごしていきたいと思います。



連日暑い日が続いています。熱中症警戒アラートや外気の気温計をこまめに確認し、外に出られない日は室
内で過ごしています。進級して3カ月が経ち、子どもたちの遊びに変化が見られるようになりました。

「遊び」というと色々な意味がありますが【一人遊び→平行遊び（友だちと同じ遊びを近くでする）→集団遊
び→簡単なルールのある遊び】といったように、成長とともに段階を踏んで変化していきます。子どもたちの
自発的な活動が「遊び」というイメージです。子どもたちのその日の気分や、その場にいる子たちによっても
遊びが変化していて、見ていてやりとりの忠実さや可愛らしさ、時にはやりとりの中でもどこかしさを感じられ
ます。

現在、りす組の子どもたちは「ごっこ遊び」に夢中です。エプロンや三角巾、おんぶ紐を身に付けてボボち
ゃんをおんぶしたり、バッグの中に食べ物の玩具を入れて「おかいものいってきまーす」と室内を歩き回っ
たりしています。空っぽの玩具棚を、カウンターに見立てて「いらっしゃいませ」「どうぞ～」とやりとりする
場面も！大人が「これはこう使うよ」と教えるのではなく、子どもが自発的にその場にある物を遊びに取り入
れています。一人一人遊びの好みや興味は違いますが、互いに何をして過ごしているのかを見て、刺激や経験
になっていると感じます。次はメニュー表や看板、レジなども子どもと一緒に作ってみようかな…と遠くから
見守り一緒に楽しんでいる担任です。夏の暑さが落ち着いてきたら、外でかくれんぼやおにっこなどの簡
単なルールのある遊びも取り入れていきたいと思います。



どろんこ遊びが初めての子は、言葉では「どろんこする」と楽しみにしていた様子ですが、いざ！裸足で園
庭に降りると「なんだこれは！？」といった表情(笑)今まではどろんこで砂場に行くのも嫌がっていた子も、
砂場の端で足だけ泥水に浸かったり、ホースのぬるま湯を欲しがったりと、全く参加しないのではなくて子ど
もたちなりに自分の楽しめる範囲でそれぞれ楽しんでいました。どろんこ好きな子たちは顔も真っ黒になるく
らいのダイナミックな遊び方で、保育者も一緒に楽しみました。どろんこも一人一人のペースに合わせて楽し
んでいきますので、安心してくださいね！

おしらせ・おねがい

- ・今月から水遊びがはじまる予定です。準備するものなどはどろんこと同じです。
- ・コロナなどの感染症発症のお知らせがでています。体調不良時は無理な登園はせず、
受診をしてお家で様子を見るなどしてください。感染拡大防止に協力をお願いします。

